令和5年2月15日

保護者様
地域関係者様

渋谷区立富谷小学校
校長　石川　亜由美

令和4年度 学校評価のアンケート結果報告

日頃より、本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。
今年度も昨年度に引き続き、Forms によるアンケート回収とさせていただきました。学校評価アンケートの集計結果がまとまりましたので報告いたします。お寄せいただいたご意見を参考に、次年度の教育計画を立てております。今後も、地域・保護者の皆様と共に一層努力を続けてまいります。アンケートへのご協力、ありがとうございました。

【 アンケート回収　277件／ アンケート依頼　(456＋14)件　　回答率 約59% 】

◆各質問項目に対する回答は下のような意味を表しています。グラフを参考に評価の結果をご覧ください。

青色：十分達成されている　　オレンジ色：達成されている
灰色：あまり達成されていない　黄色：達成されていない　　水色：わからない

Q1 お子さんは自ら進んで授業をはじめとした学校の学習に取り組んでいますか。

〇宿題に自発的に取り組む姿を見ると、学校で先生が適切に促してくださり、子どものやる気を育んでいると感じる。
〇生活、図工や３年生から始まった習字もとても楽しいようだ。(他2)
〇音楽も楽譜がきちんと読めるようになり質の高い授業だと感じる。
〇算数、国語などは基礎力がついてきた。
〇自然とタブレットを活用（プログラミングやクリエイティブ）していてとても身についてると思う。(他2)
〇興味のあることを探究することを温かく応援する雰囲気がある。
〇探求学習やプレゼンなど将来に必要なスキルを早くから学習できる点は有効。
〇宿題だけは毎日イヤイヤだけどやっていく。

▲ケースがないのと子供が扱うので６年間も頻繁に使っていると傷だらけになり画面にヒビが入り、電源を差したままでないと起動もしなくなった。
▲スクリーンタイム(アプリ毎の使用時間帯、制限時間の設定)などツールそのものに対する利用制限がかけられるようにして欲しい。
▲タブレットは毎日家で使わないので、毎日持って帰らなくても。

【端末について】
　タブレット端末機器の脆弱さについては、機種の変更をするまで変えられないのが現状ですが、本校はタブレットの破損率が高いです。丁寧に使用するよう指導しています。画面割れについては、テープで補修する等を行い、安全に使用できるようにしています。また、スクリーンタイムの設定も、渋谷区での設定のため、学校独自での設定はできません。
　持ち帰りについても、渋谷区としての方針を受け実施しているため、現状のようにしています。（紙媒体の物については、学校保管や、家庭で保管など、持ち帰る物を減らすようにしています。）持ち帰り推奨については、感染症罹患時に、オンラインを実施する場合、持ち帰っていないと急な事態に対応できないためでもあります。（実際、登校できなくなったが、タブレット端末が学校にあるということで、どうしたらよいか相談の電話を受けることがあります。）

▲研究発表などをさせてもいいかな、と思う。自由に学ぶ時間があればいいと思う。
▲楽しんでいるとは思う。が、内容理解には繋がっていないので、その溝を埋めるための何かが必要だと感じている。
▲デジタルでの学習の取組が未だわからない。
▲興味の無いものは、やらなきゃいけないからやっている。
▲書く力を補完してほしい。

【活用について】
　タブレット端末の有効活用については、今後も研修・検討を重ねていく必要があります。現在、低学年の使いやすいアプリと高学年の使いやすいアプリがあり、個人で考えを検討・構成する場合、学級全体で意見交換し、この考えを広げる場合、習熟を促す場合など、学年や学習場面に合わせて使い分けています。更に、学年が上がるにつれ、学習方法（紙、タブレット端末）の選択ができるようにしています。タブレット端末だけでなく、最適な学習材を選択する力も重視しています。
　書く力をつけることの大切さは、今年度の本校の研究でも明らかです。意欲付け、書くための見通し、文章の練り上げ、交流など、書くための段階を大切にしています。また、モジュール時間を活用し、文章を書くための基礎的な文法の習得、語彙の拡大などにも、取り組んでいます。

Q2 学校は、お子さんの進度や習熟度に応じた授業や学習支援を行っていますか。

〇あまり制約もなく、子供の個性を最大限に伸ばすような先進的な授業を行って頂いていると思う。
〇算数のクラスやドリルの進め方など、子どもの希望や計画をもとに進めてくださることが自発性につながっていると感じる。
〇学校でもきちんとフォローして頂いていると思う。
〇算数が苦手ですがクラス分けしてもらい自分のペースで学習を進めているようで、苦手だけど好きになってきたと言っていた。
〇自由進度学習という、個人のペースで取り組める試みをされているので、学習意欲が増しているようだ。

▲個々の子供の個性を尊重し、もっと学びたい子はどんどん先へ、ゆっくり学びたい子は一歩ずつ、クラス全体の授業に支障がない範囲のことに関しては、それぞれの個性をもっと尊重した教育指導であればいいなと思う。

▲クラス全員が同じ習熟度になることは無いと思っているので、達成されないのはしょうがない。
▲算数のレベル別クラス分けなどは他の教科でももっとやるべき。
▲算数少人数が出来ていない。
▲分からないまま次に進んでしまうので「個別最適」とは言い難い。理解できていない部分の穴埋めをする場や機会が必要。（他2）
▲標準的な進度について来させようとすることはしていると思うが、それでも足りなかったり、逆に進度が遅すぎてつまらない、といった状態があるように感じる。
▲１番個別化できる宿題が習熟と無関係に分量で出されているのは改善して頂きたい。
▲英語の習熟度にかなり差があるが、習熟度別の授業となっていない。
▲さくらんぼ計算については考え方を学べばよいので、さくらんぼの形を書かせることは意味がないと思う。

【習熟度別学習について】
　算数の習熟度別については、全学年実施する計画でしたが、教員欠員の関係で実施できていない学年もありました。次年度以降人員配置をし、改善していきます。少人数にできない場合でも、習熟度別を実施していくよう検討していきます。（英語については専科のため、習熟度別のクラス分けはしませんが、授業の中で工夫して指導していきます。）
　算数の学び方、宿題の出し方については、いただいた意見を参考に、検討しますが、自由な進度にするということは、取り組む全員が計画的に確実に行う学習姿勢が欠かせません。ご家庭の協力、児童の自覚の促しを一層進めていく必要があります。

▲授業中、隣の子の動画を取っていたりした。パソコンがあることで授業に集中できているのだろうか？
▲授業態度の悪い生徒に先生が注力してしまうため、全く授業が進まないと聞いている。（他2）
▲毎日明確に宿題が出ないので学習する姿勢が落ちている。
▲こまめなテストが無くなって漢字力が落ちてしまった気がする。

【学習全般について】
　タブレット端末での活動において、個々の取り組む姿勢が重要となります。実際のところ、授業中に課題以外のことをしている児童もおり、教員としても指導を重ねています。また、様々な事情を抱えての集団学習ですが、自由に行動するその行為が全体にも影響することを考慮し、各自が自分のことにしっかりと取り組めるよう、保護者の皆様の家庭での声掛けもお願いします。
　漢字の習得は、日常に如何に使用していくかが定着の基本です。テストだけでなく、日々使える漢字を使用するよう指導していきます。

Q3 学校は、子供同士で意見交換したり、調べたりするなど、協働的・対話的な学びがある授業を行っていますか。

〇クラスメイトと協力して楽しく色々やっている様子が伺えます。
〇実行委員の取組や係活動に熱心に取り組んでいる。
〇グループで意見を出し合ったり、授業中も発言しやすい雰囲気がつくられていると感じた。（他4）
〇子供の頃より共同作業が多いように思うので時代に合わせてカリキュラムが作られていそう。
〇いろいろなことを子どもたちで決めて、フィードバックを回収してまた話し合う機会が多いようで、その経験は今後も活かされていくのではないかと思う。

〇タブレットのチャット機能で質問出来るのはとても良いと思う。

▲コロナのためかと思うが、子供同士での対話の場が少ないと感じている。(他6)
▲低学年は意見交換と言うより、意見を言うだけ、にとどまっているように思う。
▲一部の意思の強い生徒により話し合いがうまく成立しない場合もあるのが小学生らしさだと思う。必ずしも協働的、対話的な学びが行われているかは不明確。
▲取り組みとしてやっているのは知っているが、内容の詳細を親は知らないから分からない。
▲グループ内でもやる子とやらない子がいるようなので、協働的・対話的かどうかは分からない。(他2)

【学習方法等について】
コロナ禍で、近接しての対話を制限してきましたが、これからは、マスク等の対策の上、学習活動を進めていきます。意見交換の仕方については、低学年から少しずつ積み上げていくことが大切だと考えています。まずは各自が意見をもつこと、次に表出すること、次に他者と比較して自分の考えを見直すこと、最後に様々な意見を取り入れながら、自分の考えをより良いものに作りあげることと、協働的・対話的な学びを行うために必要なものがあります。段階を追って学び方を学んでいくよう６年間を見通して考えています。

Q4 学校は、「シブヤ科」の学習を通して、自ら課題を設定して解決への見通しを考えたり、考えたことを発表したりする学習を推進していますか。

〇地域の方との触れ合いを通して学び、アウトプットの機会が確保されていると思う。
〇課題設定、取材、まとめ、発表としっかりやっていると思う。
〇バスで渋谷区内を巡った校外学習は大変興味深く印象的な学習だったようで、渋谷区への愛着につながったと感じている。
〇町探検を楽しんでいた。

▲そのような科目があること、どのような活動をしているのかなど知らない。(他3)
▲アンケートをするならばシブヤ科の授業内容を公開するとわかりやすい。
▲「シブヤ科」の狙いを明確に。

【シブヤ科等について】
シブヤ科については、学校だより等で紹介してきたところですが、独立した教科ではないため、詳細な説明が必要でした。今後、学習の内容や、成果、課題等、学年だよりや学校だより等を通してお伝えしていきます。

Q5 学校は、前出の質問(1)から(4)の授業を推進するために、お子さんのタブレット端末を効果的に使っていますか。

〇タブレットでの個々のやり取りなど有効活用している。
〇タブレットの活用に年々慣れてきているのは良いことかと思う。
〇個人的にはまだ年齢が低いうちは基本の手書き作業をしっかりやった上で、タブレットの道具を活用できるように、今はこの程度でいいと思っている。
〇タブレットの活用は充分。
〇学校の授業でみんなの作品を一斉に見たりできたのが楽しかったと話していました。
〇全国的にもトップクラスの利活用のように思い、大変満足している。
〇他の授業との兼ね合いや学年に応じた習熟ペースを良く考えてくれている。

▲ログインが子供の顔認証なので、親だけで確認できない。
▲タブレットを壊してしまうとしばらく使えないので困る。
▲時々パソコンの通信の不具合で宿題の確認が出来ず途方にくれることがある。従来の連絡帳に戻して欲しい。
▲surface が使いづらく、顔認識に時間がかかる。ミライシードも、本のドリルを PC でできるようにしただけのもので、デジタルでやる意味がないと感じる。ipad の方が操作も直感的だし、クリエイティブな作業にも適しているのではないか。
▲検索フィルターが厳しい為、調べ学習の際に困っている。
▲ドリルパークは字が小さくて少し見にくい。
▲タブレット自体はあまり頻繁には活用している様子がない。
▲タブレットを毎日運ぶのはランドセルが重そう。

【タブレット端末について】
タブレット端末の使いにくさについて多くのご意見をいただきました。渋谷区の採用のため、学校独自での改善は難しいところですが、ご意見については渋谷区への報告にあげていきます。

▲何でもかんでもタブレットに集約しなくていいと思う。小学校のうちは基礎学習を徹底させてほしい。
▲もっと宿題提出や連絡等、タブレットを使用してやってほしい。
▲タブレットを使うことが学びの目的にならないよう、活用の仕方を検討し続けていくことは教育界全体の課題。
▲タブレットになると「個人の世界」になるので、理解しているかいないかが外からは見えにくい。個人の習熟度まで正確に分析＆フィードバックできてはじめて効果的と言える。
▲この成長時期には、考え、そして書くことで脳に定着していくこともまたとても大切なことだと思う。画面に直接書き込んでいくことは、紙に書いていくことより定着しにくいと聞いている。利便性ばかりでなく良いとこ取りで両用していけることを願う。
▲タブレット等のデジタル機器が使える様になるのは好ましいが、やはり『自分で書く』という作業は、脳の発達においても欠かせない。デジタルに依存し過ぎず、紙と鉛筆と指先を使う昔ながらの教育もして欲しい。

【タブレット端末の活用について】
タブレット端末の活用頻度の要望については、各ご家庭の方針により異なります。タブレット端末を使うのが効果的な学習場面を検討しながら、計画的に活用していきたいと考えています。「デジタルの良さ」「紙面の良さ」を理解したうえで児童自身が選択できるように指導を重ねていきます。

Q6 お子さんは安心して学習に取り組むことができましたか。

〇楽しく通学勉強しています。
〇重大案件の時は学年全体のトピックとして子供たちに伝えてくれたので、きちんと対応してくださっていると言う安心感がある。（他2）
〇学校としては安心できる環境を心がけていて、信頼しています。
〇学校公開の参観した様子からは、和やかな授業で、子供たちの学習意欲を感じた。

▲コロナ感染のお知らせを頻繁に頂くが、増えているのか減っているのかも分からないので漠然とした不安だけが増した。
▲コロナ対策よりもそろそろ子供の「体験」の方に重きを置いて欲しい。
▲どのクラスも人数が多く、感染症などのリスクも大きいように感じる。一クラスの人数を少なくする、大人の数を増やすなど必要。

【コロナ対応について】
個人の罹患については、守秘義務があり、細かい情報を流すことはしていません。渋谷区からは保護者に通知するよう指示されています。ご心配をおかけしますが、通知頻度で、罹患状況の増減を推しはかっていただければと思います。

▲子供の話から、給食前に帰ったり、6時間目から来たり、休みがちなお友達がいるそうで、少し心配している。
▲授業中に騒ぐ子に気を取られ、集中できないことや、ストレスを感じることがある。（他5）
▲自分に直接的な危害がなくても、クラスメイトの乱暴な振る舞いに恐怖を感じることがある。（他3）
▲人間関係上の課題が多い。（他2）

【学校生活について】
個々、様々な事情を抱えている児童もおり、詳細を全体に向けてお話しすることが難しいケースも多いため、不安に感じることもあるかと思います。保護者と連携を取りながら対応しているケースも多く、ご理解いただきたいところです。学校は社会の縮図でもあります。子供たちには、いろいろな人がいること、まずは自分のことをしっかり行うことを声掛けしています。いろいろな悩みを抱えている児童の声を聴き、心のケアをしながら進めていきたいと思います。

▲１年生は手のかかることも多いと思うので、補助的な方がいた方がよいと思う。有志の寄付という形でそういったサポートができたら。
▲担任が変わる度に気を使い安心して学習出来なかった。
▲先生が怖くて、聞きたいことが聞けない…と言っている。

▲どのようなアンケートをしているのか、内容を親にも知らせてほしい。

【教職員について】
子供たちの声をしっかりと受け止めていくようにしていきます。また、人員を確保し、多くの目で子供たちをサポートしていくよう、渋谷区の様々な制度を活用していきます。

Q7 学校は、お子さんや保護者の相談に誠実に対応していますか。

〇保護者の意見を前向きに検討、質問や相談に対しては丁寧な対応をしてくれていると思う。（他5）
〇小さな事も担任から報告が有り、連絡帳の返事も丁寧。（他2）
〇「安心して登校できるように全面的に協力します」と言っていただき心強く感じた。
〇学校で無くしてしまった物を、学校公開時に展示していただきよかった。今後も継続してほしい。
〇担任先生がとても熱心に見てくださり、大変感謝している。
〇時々乱暴な行動をする子がいるようだが、都度対応して下さっている様子である。

▲親からの話には迅速。しかし、子どもは先生に相談してはいる様だが対応してくれないと言う。
▲支援学級関連の話の結果や連携が遅い。
▲あゆみ　評価は、項目と評価対象の内容との対応関係がわかりにくい。項目と評価の関係が明確であればより納得感がある。
▲株式会社コステム　警備責任者との約束を3月以来待っていますが、未だ履行されず。

【対応について】
　支援学級関連の結果については、迅速にお伝えできるよう、渋谷区にも働きかけていきます。
　あゆみについては、保護者会でもしっかりとお伝えするようにしていきます。評価の詳細については、子供たちにあゆみを渡す際に個別に話す形で示しています。子供たちが納得できるよう、丁寧に説明していきます。

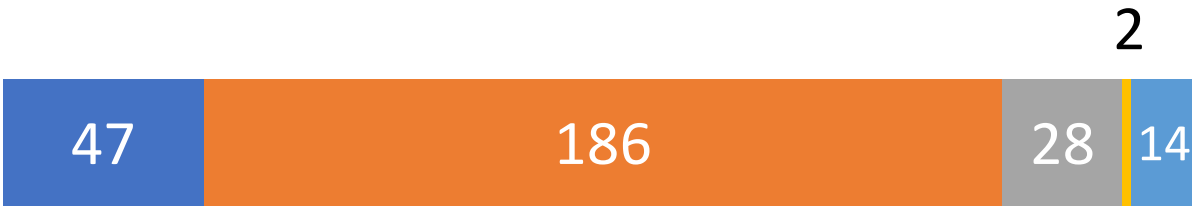
Q8 学校は、いじめ対応の方針をお子さんや保護者に明確に伝え、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めていますか。

〇先生は子供それぞれの立場に立って、公平に接しようと努めてくれている。

▲ホームページのいじめ防止基本方針をまだ拝見していなかった。
▲ホームページ公開や文書だけでは、読む人読まない人がいるので、口頭での方針説明も必要かと思う。
▲保護者に伝わっていないので、よく分からないのが実情。（他2）
▲応対方針は公開されているので理解できるが、実際に学校で起きていることは見えてこない。
▲クラスでの問題発生に対して子供から話は聞くものの保護者会では一切触れられていない。
▲自分の子供以外のいじめに関する情報が学校からは伝わってこない（当事者や他の保護者からは聞くことがある）。
▲呼び捨て禁止がいじめ防止になっているのか疑問に思う。本人同士が了解を得ているのであれば、呼び捨てでもいいのではないか。
▲子どもから大人へのハラスメントにも、何かしらの対策を講じた方がいいのではないかと感じる。大人も安心して働ける環境は、子どもの安心にもつながる。

【いじめ対応について】
　いじめの未然防止・早期解決についての学校の取組については、年度当初の保護者会等で明確に示していきます。個々のケースについては、保護者会等で伝えられる内容については伝えていきますが、デリケートな問題でもあるため、明確にお示しできる内容にも限りがあることをご理解ください。ご家庭でのご指導も大切ですので、関係の保護者の皆さんには機会をとらえ、情報共有していきます。

Q9 子供たちは、安心・安全な学校生活を送るために、集団生活に必要なきまりや約束が身に付いていますか。



〇安心して登校している。(他16)
〇子供の成長に合わせ、ご指導いただいていると認識している。(他3)
〇集団生活に必要な決まりは十分にご指導いただけていると思う。(他25)
〇集団行動内で、協調性は養われていると思う。(他2)
〇個性を尊重しつつルールも守れる子が多いと思う。
〇通学ルートや学校のルールは守られていると思う。(他3)
〇IT 化を進めたり、クラスメイトとディスカッションやプレゼンをしたりと、とても先進的な教育を進めているように感じる。
〇コロナ禍ではあっても徐々に人と関わりながら活動できることが増えてよかった。子供にとっては人との関わりの中で多様な体験をしながら学ぶことがとても重要。(他4)
〇自然にあいさつ、声がけができていて良いと思う。
〇何かあった時の先生の対応が早く子供も保護者も安心して学校生活を送れている。
〇登校支援の先生のお力添えもあり昨年より登校もスムーズになった。
〇子供の不登校のさいには丁寧にご対応していただき、感謝している。

▲個人差が感じられる。(他4)
▲クラスには様々な事情、性質によって皆と同じ様に行動出来ない児童もいるので難しいと思う。
▲一部の子どもたちが暴力的であったり、授業に支障があるのではと懸念される行動を子供たちから話に聞き、心配している。暴力的な行為だけは見逃さないで欲しい。(他2)
▲言葉遣い等、身についていないところもありそう。
▲あと少し勉強に集中できる環境を個々作れたら素敵だなと。
▲授業中に暴れる子が多い。態度が悪い子は保護者に協力をいただくべき。(他3)
▲協調性を欠いた児童が数名いて授業の妨げになっている。(他2)
▲家庭による温度差やしつけの方針が異なり全員に身についているとは言えない。
▲クラスの雰囲気が落ち着いてないように感じる。
▲友達同士のトラブルは多少あり、辛い思いをしている児童は存在している。
▲学校は誠実に取り組んでいるが、家庭環境によっては必要なきまりや約束が身についていない場合もある。(他2)
▲決まりを守っている子供とそうでない子供がおり、子供としては混乱している。
▲持ち物や予定を自分で確認する姿勢が足りない。
▲車椅子に対する、優しさや優先すべき所がまだ身について無い。
▲登下校中の様子が、気になる。(他3)

【集団生活おけるきまりについて】
　学校生活を送るうえで必要なきまりは、集団生活を円滑にするためのものです。暴力的な行為、授業の妨げについては今後も継続して指導し、誰もが安心して学べる環境を作るよう努力していきます。ご家庭でも、暴力では解決しないこと、集団生活をおくる上で守るべきルールについてなど、自分の思いだけを優先させるのではなく他者の権利を守ることも大切であることをご指導ください。

▲まだまだ昭和な画一的な管理型の指導を行っている様子。
▲理由を説明した上での指導が不十分に感じる。
▲職員によって指導などのバラつきがあるように感じる。（約束を守らなかった際の過度な叱責、児童の意見を聞いてくれているのか等）
▲正しい事を言っても多数決ではねられるのを聞くと切なくなる。
▲クラスの団結が出来ていないため、授業や給食など、素行が悪い子が改善されず、集団生活が正常に行われていたとは思えない話を聞いている。
▲こういうことをしたらこういう対応になる、という明確な指針はわからない。
▲個人情報保護の問題もあり難しいのかもしれないが、学校で何が起こっているのか正確な情報を迅速に伝えてほしい。
▲決まりや規則を身に付けるのには個人差があるので、そこは保護者も一緒に取組むべきだと思う。学校と家庭とのコミュニケーションが必要かと思う。（他２）
▲「他の人がしないことはやらない」という風になっていて多様性の生まれにくい環境になっていると感じる。
▲生活指導の厳しい先生がいても良いと思う
▲個別に対応が必要なケースは家庭との連携が大切だと思う。

【生活指導について】
　各教職員が共通理解をもとに指導できるよう、今後も情報共有しながら指導に当たります。子供たちには、納得したうえで指導が受け入れられるようにしていきますが、ある発達段階においては、ダメなものはダメということも必要だと考えます。学校での対応すべてをルール化するのは難しく、個々に対応することも多いです。共通してできる対応については、保護者の方と共有していきます。

▲保護者の携帯から検温報告をするのではなく、自身のタブレットから報告するようにするか、以前のように紙に戻して欲しい。
▲校内でのマスク着用を自由選択にしてもいい時期ではないか。
▲コロナ対策、マスク指導が不十分。不安を感じる児童へのケアが不十分。改善要請対応がなされていない。
▲マスク、黙食によりコミュニケーションの機会が減ることが心配。
▲社会的な感染症対策の変化に対し学校側の対応に変化があるのかないのか不明で家庭によって解釈が変わっているのでこどもに混乱が生じている。

【健康管理について】
　マスク着用ルールに関しては、学校は渋谷区のガイドラインに従い指導しています。密の避けられない環境下ではマスクを着用するよう指導していますし、密の回避できる場所では、マスクを外しての活動を声掛けしています。（マスクを外すことに抵抗を感じる児童もいるので、全員に強制することはしていません。）感染状況が変化していくため、その時々に状況に合わせて判断して指導対応していきます。

Q10 学校は、学校だよりなどの配布物や調査等について、学校ホームページや Home＆school（ホーム アンド スクール）などを活用して、ペーパーレス化を推進していますか。

〇ペーパーレス化は達成されている。プリントや検温がデジタル化されて時間短縮や外出先でもプリントが確認できるようになり大変助かっている。（他6）
〇このアンケートも Forms 回答を選択できてありがたい。

▲システムの問題でアラートがたくさん出て、必要な情報をタイムリーに見れていない。（ホームページが更新されると通知がくるので、見ないようになってしまった。）
▲紙には目を通していましたが、ダウンロードファイルだと読まない。
▲色々な情報がひとつの掲示板に掲載されており、必要な情報にたどり着くまで時間がかかる。カテゴリーごとに分類してほしい。（他11）
▲アプリの修正を終えてからペーパーレス化するべき。（他2）
▲本当に重要な内容（学年だより、ほけんだより、保護者会、月の行事予定表や献立表）は別途紙でもお知らせいただきたい。（他5）
▲紙がまだまだ多い。大事なものに限って紙で渡され、保管に困る。
▲学校発行ではないチラシやイベントの申し込みやお知らせなどもペーパーレスもしくは必要な人にだけ配る方式を取ってほしい。（他2）

【情報提供の仕方について】
渋谷区の指針に則り、ペーパレス化を図っていますが、各ご家庭により、紙のほうが良い方と、データのほうが良い方とが混在しています。学校としては、調整の必要なものについては「紙」、情報としてお知らせするだけのものはデータで、など伝達方法を分けています。HP や H&S の見にくさ、利用しにくさなどについては、掲載の仕方、カテゴリー分けの仕方など学校でできることについては検討し、工夫していきます。

▲検温報告は不要と思う。熱や体調不良があれば休ませる。（他4）
▲遅刻早退も Home &School でできるとよい。

【各種アプリについて】
検温・欠席報告等のアプリ活用については、渋谷区の方針で、使用するよう言われていますので、今後も継続していきます。遅刻、早退も H&S でできますので、ぜひご活用ください。
検温については、入力する割合が、どの学級も2/3程度です。各学級では、8 時25分のチャイムとともに朝の健康観察を行います。その時間までに入力されていないと、授業が始まり、担任も見逃してしまいます。朝の忙しい時間ですが、ご協力をお願いいたします。（まだまだコロナ罹患が止まらない状況です。健康観察の重要性をご理解ください。）

▲行事の写真サービスもぜひデジタル化することを希望する。
▲アプリはコドモンの方が使いやすい。
▲配信の頻度が多い気がする。
▲渋谷区自体の Web サイトの改善を望みたい。
▲授業の時間変更を Teams で知らせるのは、やめて頂きたい。家庭では極力タブレットを見せないので。

▲学校以外の配布物は家庭数で十分。

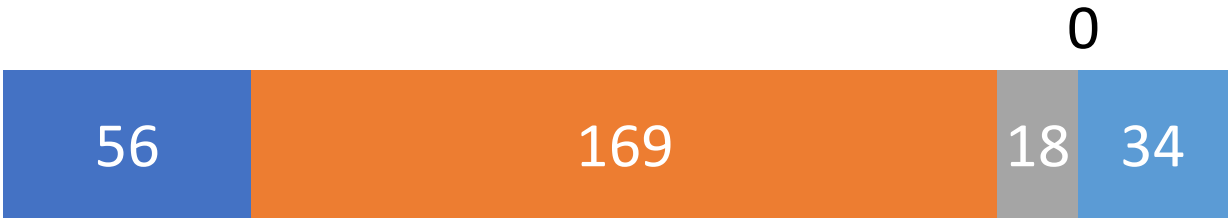
【その他について】
写真サービス、アプリ選択、Web サイトについては、学校外の組織・団体、業者の判断です。ご理解ください。
Teams での時間割掲載については、便利だという声もあります。印刷物で欲しい場合には個別に担任までご相談ください。

Q11 学校は、教育の方針を分かりやすく伝えていますか。

▲教育方針を知らない。
▲シブヤ科の説明が無いように思う。
▲個人情報をうまく隠しながら、HP だけでなく Instagram 等を利用して学校内活動を可視化していくのは重要だと思う。SNS 媒体を活用して上手く学校に対する理解を深めている学校もある。

【情報提供について】
年度当初の全体保護者会で説明させていただき、学校だより等でもお知らせしているところですが、まだ理解には不十分な部分があるようです。今後様々な機会を捉え、学校の教育方針をお伝えしていきます。

Q12 学校は、家庭・地域の理解と協力を得て、教育活動を推進していますか。



〇コロナ禍で厳しい中、できる限りで活動していると思う。
〇ちょっとした事を聞きたい時に用務の方々のお世話に感謝している。
〇PTA の活動など各家庭や地域の方は大変協力的。

▲学区内中学校の説明会の日と、小学校の土曜日登校日の擦り合わせはきちんとして頂きたい。
▲4月に行なわれた保護者会の日程通知が1週間程度しかなく、直前すぎて困った。余裕をもった日程で共有いただくか、オンラインで開催（録画あり）実施していただけるとありがたい。
▲図書ボランティアの読み聞かせにおいて、手を挙げた方の負担が高いように思う。
▲習い事が多いという理由で、宿題は自主性に任せられており、その点について教育格差を生む一因でもあるように思う。
▲学校から必要な物を言われれば、すぐ用意できるが、子どもからだけだと伝わらないことが多い。

▲小さな出来事の積み重ねが大きな出来事に繋がるので、報告があるとありがたい。

【地域との連携について】
学校行事を組む際には、地域の中学校と行事計画を共有し、日程調整していくようにします。また行事日程については、極力早めにお知らせするようにします。
PTA ボランティアの仕事内容については、保護者の皆様でご検討ください。
宿題に関しては、様々なご意見がありました。学級・学年の実態に合わせて検討していきますので、ご理解ください。
持ち物等の連絡については、学年だより、H&S 等を活用し、確実に連絡が届くようにしていきます。

Q13 家庭(や地域)は、学校の教育活動に対して(それぞれの)役割を果たし、連携・協力をしていますか。

○PTA 活動が効率化しながらも皆さんと分け合えるよう年々工夫が重ねられている。

▲校外学習も良いが、基礎学力の定着をもっとはかって欲しい。
▲いつテストがあるのか分からず、家庭で協力することも出来ない。
▲共働きが増えている今、PTA も一部外注化を推進してはいかがか。
▲地域を対象とする質問については、なかなか見えにくいところがある。

【家庭連携について】
校外学習もその目的と教育課程上の位置づけがあります。学校外で得るものも多くあります。
テスト等のお知らせについては、お子さんを通して行いますが、担任にご確認いただくことも可能です。個々にお声掛けください。
PTA の活動については、今年度も見直しをし、今後も見直しを図るとのことでした。様々なご意見は、各役員までお寄せください。

Q14 学校の教育活動は、学校の特色が表れたものになっていますか。

▲根本的に児童の言葉遣いをどうにかして欲しい。
▲初等教育に対して特色はあまり出せないのではと思う。
▲実感は少ないと思う。

【特色について】
　公立小学校として行う教育課程があり、その中で、特に今年度学校として力をいれていたのは「国語科における書くこと」に関する取組でした。学習活動の中で力を入れていました。その他では、同窓会との関わり、ベトナム大使館との関わりなどがあげられます。他校との比較で改めて見えてくるのが本校ならではの「特色」だと考えています。

Q15 学校は、デジタル・シティズンシップが身につくようにタブレット端末を適切に活用した教育活動を推進していますか。

〇担任の先生は子供たちの特性をよく把握し、対応している。一方的に決め付けず、クラス運営をしている。

▲基礎学力がままならない子どもに、デジタル化を推し進めても将来それを利用して何かの役に立てるのか疑問。
▲タブレットの利用に自己コントロールが出来なかったり、紙でもうまくまとめることが出来なかったりする小学生には早いのではないかと思う。
▲良くも悪くもいつでもタブレットでやり取りできるようになり、夜間や土日の使い方（時間）が気になる。
▲デジタル・シティズンシップを意識しているとは思えない。
▲タブレットのハードのスペックがお粗末。バッテリーも弱っているし、重すぎる。

【タブレット端末使用について】
　デジタル・ネイティブな子供たちにとって、タブレット端末の使用はこれからの生活には欠かせないものです。一方、発達段階や、学習内容により利用の仕方が異なるため、有効的な活用をするためにはどうしたらよいか、子供たち自身が考えていくことが大切です。しかし、タブレット端末でゲームを楽しむ児童もおり、指導しているところです。